

## 令和7年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第二小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合って、家庭生活の見直しに役立ててくださいようお願いします。

1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できっていない
小	全 国	32.6	49.1	15.3	2.8
6	白二小	38.5	50.0	10.4	1.0

(単位 %)

### 【考 察】

- 自分で学び方を考え、工夫できている児童が多いです。今後も見通しをもって学習に取り組み、自分で調べたり、友だちと話し合ったりすることを通して、問題解決に向けて、工夫できる子どもを育てていきます。
- 分からないことや追究したいことがあった時には、子どもたちの意欲を大切にしながら、本や辞書、資料集、ICTの活用を図りながら自力解決ができるように支援し、友だちとの学び合いを通して一人一人の学びを広げたり深めたりする授業を推進していきます。

2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	12.1	12.8	29.1	27.4	12.9	5.7
6	白二小	3.1	15.6	32.3	32.3	14.6	2.1

(単位 %)

### 【考 察】

- 約半数の児童が、学校が目標としている70分（学年×10分+10分）の学習時間を達成できているととらえています。達成できていない児童の家庭学習の習慣が身につくよう、宿題や自主学習の充実に取り組み、指導をしていきたいと思います。また、効果的な家庭学習となるよう、内容の充実も図っていきたいと思います。
- 今後も、児童の学習の実態把握に努め、課題を改善できるような宿題を工夫していきます。家庭での動画やテレビの視聴、ゲームの時間が長い様子が見られますので、家庭との連携による「メディアコントロール」の推進を図り、学習時間の確保と充実に取り組んでいきます。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全国	31.2	48.2	17.1	3.3
6	白二小	35.4	49.0	14.6	1.0

(単位 %)

#### 【考 察】

- 多くの児童が、学習内容を見直して次の学習へつなげようと努めている様子が見られます。今後も「分からぬことをそのままにしない」という意識をもって、学習に取り組むことができるよう指導していきます。
- 授業の終わりに、その時間でどんなことを学んだのかを振り返ったり、学習を通して分かったこと、感じたこと、さらに疑問に思ったこと等を教科日記にまとめたりする活動を行っていることが、学習内容の定着に繋がっていると思います。今後もこの活動を通してさらなる学習内容の定着を図り、次の課題づくりにも役立てていけるよう、努めています。

4 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができますか？

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全国	35.5	47.0	14.3	3.0
6	白二小	39.6	51.0	8.3	1.0

(単位 %)

#### 【考 察】

- 9割以上の児童が、授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考え、生かすことができると考えています。そのような力は、これから社会を生きしていく上で非常に重要な力であるので、児童が学びを自覚したり、さらに力を発揮したりできるように、学校生活・家庭生活の両面で意識させていきます。
- 「どちらかと言えば、当てはまらない」「当てはまらない」と回答した児童についても、学んだことを活用できる場を設定するなど授業を工夫して、身につけた力を使って解決できる経験を積めるようにしていきます。